

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年2月20日      事業所名 すまいる・キッズ      職員数 5      回収数 5      割合 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	②	職員の配置数は適切である	4			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・物の定位置の視覚化（玩具棚の写真）</li> <li>・予定の視覚化（始まりの会のボード、写真、絵カード）</li> <li>・特性に応じた流れ（個別療育や部屋移動の順、声掛けのタイミング）</li> </ul>	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の玩具、遊具の点検及び補修</li> <li>・週1回の玩具清掃</li> <li>・口に入れやすい玩具は複数個用意したり、湯洗い、清掃をこまめに行っている</li> </ul>	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼及び終了後のミーティング</li> </ul>	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度2回のアンケート実施</li> <li>・日々の心掛け</li> <li>・評価表の他に年一回実施している就園児保護者参加の保護者交流会の後にはアンケートを実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者による事業所評価を年1回実施。その結果を職員間で共有し改善へ向けた取り組みを行っている</li> </ul>
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度2回のアンケート実施、HPでの公開</li> </ul>	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価がおこなわれているかどうか分かりません</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価は実施していない</li> </ul>

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・今年度中に2回参加予定	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	1		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	4	・アセスメントツールは現在準備中	・アセスメントツールは現在準備中
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・特性に合わせ細かく具体的な支援内容を設定している ・家族支援、地域支援については主に面談等の機会に口頭で補足説明をしている	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・チームで振り返り、相談し、改善しながら活動している	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・サービス提供前のミーティングにはその日出勤の職員全員が参加しプログラム内容や個別配慮について確認している	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
		㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	・モニタリング実施。書面で担当者が記入提出。 ・会議は行っていない ・会議がおこなわれているかどうか分からない

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1			(現在、在籍していない)
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1			(現在、在籍していない)
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園の際、保護者の要望と了解のもと保護者を通じ個別支援計画を提出。</li> <li>・園見学及び担当教諭と話し合い。</li> <li>・園への見学を行ったり、園からの見学を受け入れることで支援目標の確認や相互理解を行っている</li> </ul>	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学支援シートの作成と保護者を通じ提出</li> <li>・就学相談説明会への参加以外にも今後実施していきたい</li> </ul>	・就学支援シートを活用している
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		他事業所職員による外部研修に参加している
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流は行っていない</li> <li>・法人内の保育所を含めて今後機会を設けていきたい</li> </ul>	来年度実施に向けて準備中
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人としては参加していない</li> <li>・但し地域に対しては「お祭り」と称して施設を開放するなどひらかれた組織を目指しています</li> </ul>	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・日常的にフィードバックや会話の機会を持ち、内容によって直接支援にあたる職員、または児発管が伝えるようにしている	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	・今後検討していきたい	該当する保護者に対しては、面談等で具体例をあげ関わり方を共有している

保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・十分ではないが、勤めている	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	・母子分離クラス 2回/年 保護者 ・個別クラス、母子分離クラス 1回/年 交流会 ・母子同室クラス 日々保護者同士の橋渡し ・就園児の保護者に対して交流会や保護者会を行っているが今後は未就園保護者対象の会も実施していきたい	就園児の保護者に対して交流会や保護者会を行っているが、未就園児保護者対象の会も来年度実施予定
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・保護者からの相談には申し入れのあった当日や近日中に対応するようにしている	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	・定期的に発行することを試みてます ・定期的な発行は今後検討したい	定期的な発行を予定している
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・どのような伝え方が良いか配慮。十分ではないが勤めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	・行事はないため行っていない ・石神井保健相談所へのパンフレット。	法人内の他事業所にて実施
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・11月感染症対応確認。マニュアル有り。 ・保護者参加の避難訓練を実施	

非常時等の対応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に組み込み実施及び振り返りをしている。</li> <li>・災害時保護者への連絡の取り方、掲示について個人的に確認できていない。</li> </ul>	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子分離クラスにおける受入れ時</li> <li>・この時期予防接種と持病がある児の「視診」「保護者からの聞き取り」もう少し丁寧にしたい。</li> </ul>	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当なし</li> <li>・食物を提供する場面がありません</li> </ul>	サービス提供の内容に食事を含んでいない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体的拘束が必要と考えられる児童が不在。今後必要であると判断される場合は対応可能と考えられます。</li> </ul>	該当児なし

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。